

件名

## 虹ヶ浜菊を育てよう(さし芽作業)

内容

## 1. 目的

光市立浅江小学校に隣接している、潮音寺山ちょうじさん(標高62.3m)の整備を進めてきたが、潮音寺山に自生している虹ヶ浜菊が減少していた。そこで、平成17年より浅江小の6年生が総合的な学習時間を利用して、さし芽による保護活動を始めた。平成25年からは4年生が担当し、この取り組みを通して、児童とふれあう機会を大切にして自生地を復活させる。

浅江小の校章は、昭和32年に虹ヶ浜菊をデザイン化し図案化したものが使用されている。

## 2. 日時・場所

令和8年6月3日(水) 10:30~11:50

光市立浅江小学校体育館

## 3. 方法

ビニールポットにさし芽をして学校で育苗後、秋に浅江小学校の敷地内に移植する。

## 4. 指導者

浅江地区コミュニティ協議会 常任委員(潮音寺山里山づくり推進部部員他)

## 5. 参加者

浅江小学校 4年生4クラス 120名

## 6. 虹ヶ浜菊の由来について

室積女子師範(現・山口大学教育学部)の教師だった池田美成先生の調査研究によって植物学者・牧野富太郎博士に知られることになり、昭和7年に牧野博士によって、虹ヶ浜菊のことが学術的に発表された。虹ヶ浜に自生することが命名の由来となった。

昭和15年に光海軍工廠が開庁、光駅と改名されたが、それまでは虹ヶ浜駅とよばれていたように、当時は虹ヶ浜の地名は今より一般的だったと思われる。美しい地名がついたノギクなので、各地からわざわざ光を訪れる山野草の愛好家もいる。

## 7. 主催

浅江地区コミュニティ協議会 (担当:潮音寺山里山づくり推進部)

問合せ

浅江コミュニティセンター(事務局) 電話 0833-72-1438

担当者 潮音寺山里山づくり推進部部长 山本

浅江コミュニティセンター 岡本